

事業所名 多機能型事業所すまいはーと（放課後等ディサービス）

## 支援プログラム

作成日 7 年 3 月 11 日

法人（事業所）理念		地域に愛され、必要とされる事業所を目指し、将来を見据え、自立に向けた療育に心がけ、心から笑える日々を一緒に過ごしていく										
支援方針		遊びながら、共に過ごす仲間と一緒にスモールステップで成長できるよう、個々の特性を理解と対応をし、居場所として安心して過ごせる場所になるようサポートする。										
営業時間		午前	8	時	30	分から	17	時	30	分まで	送迎実施の有無	あり
支援内容												
本人支援	健康・生活	放課後等ディサービスの時間を楽しく安心して過ごせる場所として、個々の特性を理解し、構造化が必要な場合は環境の設定をしていきます。自分の荷物は自分で管理ができるように支援し、個々の特性によって、「絵カード」「文字」で見通しがわかるようにスケジュールをホワイトボードで伝えます。身だしなみについては、玄関にある姿見で確認をし自立に向けて支援していきます。畑で育てた野菜をおやつや昼食作りをし、仲間と一緒に「育てる」「作る」楽しさがわかるよう支援していきます。										
	運動・感覚	集団の活動で、保有する感覚を活かすため、様々な遊びの中で、「力加減」「ビジョントレーニング」などを取り入れながら楽しく体を動かせるよう支援していきます。又、感覚鈍麻や過敏なお子様もいる中で、個々の特性を理解した対応を行っていきます。又、散歩が必要な児童に対しては、筋力の維持に努めていきます。										
	認知・行動	個々のこだわりに対して理解をし、対応することで落ち着いて過ごせるよう支援します。支援の中で理解を進めるため「絵カード」を使用したり、アナログゲームの楽しい遊びを通して、物や数等の認知ができるように支援します。個々によってレベルの違いがある為、レベルにあったプリントで理解を深めていきます。「時間」については、理解が不十分な児童に対しては、時間を意識できるような声掛けをしながら、次のステップにいけるように支援していきます。										
	言語 コミュニケーション	個々によってレベルの違いがある中で、言葉が出始めの児童に対しては、お話をしっかり聞いてあげることで満足に繋がり、言葉数を増やしていけるように支援します。又、障害特性の理解しつつ、少人数の場所で少しでも声を出す工夫をし自信に繋がられるよう支援していきます。「お願いをしたいとき」「何かしたいとき」など自分の意思を相手に伝えるスキルを仲間同士で学べるように支援します。読み書きについては、取り組みやすいところからはじめ、何に躓いているかを探りながら、スモールステップで支援していきます。										
	人間関係 社会性	集団の遊びの中で、「ルールを守る」「仲間と協力をする」「順番を守る」「負けても仕方ない」など小集団での学びを通して、社会に出てから困らないように支援をしていきます。又、自分の感情が高ぶったときの対応の仕方を学び、落ち着いて過ごせるにはどうしていくかを一緒に考えられるように支援します。又、買い物や外食活動を通して、支払い方や公共施設でのルールを経験し、社会性を磨いていける支援をします。										
家族支援		学校や自宅での様子の情報共有しながら、家族の困りごとや不安なことがあった際はいつでも相談できるよう対応に努めていきます。						移行支援		放課後児童クラブ等を併用している児童に対しては、併用先との連携を図り、情報共有に努めます。又、地域の児童館等を利用して地域の子供達との関わりを大事にしています。		
地域支援・地域連携		自立支援協議会への参加や各関係機関とのケース検討会等必要に応じ、連携を図っていきます。						職員の質の向上		採用時研修（採用時2か月以内）・職員研修（オンライン含む）外部研修（随時）		
主な行事等		各季節のイベント・合同イベント（年1回）・長期学校休業日には外出活動（工場見学や公共施設等）・外食活動（地域のファーストフードやファミリーレストランなど）										